

サンゴの村づくりに向けた行動計画の進捗管理シート

2018.7月末現在

具体的な活動内容(案)

事業スケジュール

1) 優しさと誇り(普及啓発に関する事業)

●:実施、○:調査・検証 ●実施済み、●検討中、●未実施

事業名称	事業内容	担当課	実施時期					備考
			H29	H30	H31	H32	H33	
イメージキャラクター作成及び活用事業	サンゴに関するイメージキャラクターを公募し、着ぐるみ、ポスター、キーホルダーなどのグッズを作成する。採用された方へ賞金または賞品を授与する。	企画課	●	●				ロゴ、キャラを決定し、H30.3月公表。H30.7月うんなまつりでお披露目。ポスター、シール、クリアファイル作成、配布。
	・魚・果物つかみ取り看板・のぼり旗購入	建設課		●				第35回うんなまつりで実施。
	・工事現場設置看板・安全対策ヘルメット購入	建設課		●				村発注の工事で活用。業者会へも周知し、活用を促している。
	・サンゴナンバープレート作成事業	税務課		●				作成費用が高額なため見送り。
	・サンゴデザイン納税通知書封筒作成事業	税務課		●				課内で調整中。
	・サンゴイメージ名刺名札作成事業			●				各課・各個人において活用。
	・農業集落排水施設マンホール蓋模型製作事業	上下水道課					●	
	・「サンゴの村」モニュメント作成事業	総務課			●	●	●	
	・バルーン遊具作成事業	社会教育課		●				
	・サンゴ関連グッズの開発	商工観光課		○	●	●	●	業者と調整中。
ツール・ド・おきなわ記念品贈呈	H30.11月に開催される第30回ツール・ド・おきなわにおいて、参加者への記念品としてグッズ等を配布する。4,500個×550円(目安)	企画課		●	●	●	●	記念品選考会へエントリー済み。
施設の名称(愛称)	赤間運動場等の名称をサンゴ関係名称へ変更する	社会教育課			○	●		
かりゆしウェア製作事業	デザインにサンゴ柄を取入れ、風化サンゴの粉末を練りこんだ生地を使用した、かりゆしウェアとジャケットを制作。恩納村文化情報センターの制服として使用し、夏はかりゆしウェア、冬はジャケットを着用。また、職員一般用に低廉な価格のかりゆしウェアの製作も行う。	社会教育課 商工観光課		○	●	●	●	(商工観光課) うんなまつりで職員が着用したポロシャツや保育園児のTシャツの購入希望者がいたため、デザインを変更して販売を検討する。
デジタルコンテンツ導入事業	サンゴ育成のアプリケーションを開発し、デジタルコンテンツを文化情報センターに設置。来館者に餌やり等の体験をしてもらい、サンゴへの興味関心を高め、自然保護思想の啓発を図る。	社会教育課			○	○	●	
世界一を発信する取り組み	サンゴに関する活動等でギネス登録を行い、恩納村の情報発信力を高める。	企画課		●				H30うんなまつりで実施予定であったが、エントリー内容を見直すためH31年度実施予定。
サンゴの村フェスタ	うんなまつりと同時開催でサンゴの村フェスタを行い、世界一サンゴにやさしい村をアピールする。	企画課	●	●	●	●	●	H29に引き続き実施。各ブースのワークショップが好評だった。
環境関連データのモニタリング調査の実施	海や河川等の定期的な水質調査を行い、サンゴ礁保全再生活動のモニタリングを行う。	農林水産課 漁協	●	●	●	●	●	藻場、マングローブ林などを中心に調査することを検討中。

サンゴの村づくりに向けた行動計画の進捗管理シート

2018.7月末現在

2) 人づくりと協働(人材育成に関わる事業)

●:実施、○:調査・検証 ●:実施済み、●:検討中、●:未実施

事業名称	事業内容	担当課	実施時期					備考
			H29	H30	H31	H32	H33	
小学生サンゴ礁学習教材配布事業	子ども達がサンゴ礁に生息する生き物に関心を持ち、より深く学ぶきっかけをつくることを目的に村内小学生を対象にサンゴに関する教材を購入し配布する。	学校教育課		○	●	●	●	
総合的な学習の時間でのサンゴに関する学習の実施	子ども達がサンゴや海の生息する生き物に関心を持ち、より深く学ぶきっかけとなるよう、総合的な学習の時間等でのサンゴに関する学習に取り組む。また、保護者参観等と併せて実施することで、保護者のサンゴに関する関心を高めるきっかけとする。	学校教育課	○	●	●	●	●	H29年度に教頭会で事業内容を説明。H30年度は喜瀬武原小中学校で事前学習・野外観察会を実施。その様子がウチナー紀聞で放送された。
恩納村子ども会ジュニアリーダー研修及びその他子ども会事業での講	ジュニアリーダー研修等において、漁協とタイアップし事業の説明及びサンゴについての講習等を実施する。	社会教育課		●	●	●	●	
	・サバイバルキャンプ							
	・受講者に対し、関連グッズ等を配布する。							
	・各単位子ども会へさんご苗の植え付け事業							
	・子どもフェスティバルでの事業説明及び講習等							
絵本製作事業	サンゴに関する学習会を行い、サンゴに関する絵本製作のワークショップを行う。製作された絵本の中から大賞の選出及び出版を行い、サンゴの村宣言の普及啓発に活用する。	社会教育課	●	●	●	●	●	H29.12月～H30.3月まで計6回の講座で、子どもから大人まで15の作品が完成。大賞作品が出版された。
サンゴや海辺の生き物に関する学習会の開催	村民一般向けにサンゴや海辺の生き物に関する学習会や観察会、サンゴの苗づくり等を実施する。	社会教育課	●	●	●	●	●	
サンゴの写真展・パネル展示等の開催	サンゴの写真展やパネル展を各施設で開催(巡回)し、サンゴの村をPRする。世界のサンゴの写真はもちろん、恩納村の海に生息しているサンゴの写真や植え付けしている様子の写真も展示する。そのことによって保育所のお迎え時や、授業参観等で保護者も見ることができる。	社会教育課 福祉健康課		●	●	●	●	(福祉健康課) 保育所で写真等を展示できるよう企画課と調整中。
サンゴや海に関する展示施設の整備	サンゴや海に関する解説や展示を行う施設を整備する。さらにICTの活用等によって、海に潜ることができない方も海の中を体感できるよう展示の工夫を行う。	社会教育課			○	○	●	
給付型奨学金制度の創設	サンゴ基金を活用し、大学進学者等に対する給付型奨学金制度を創設する。				○	○	●	
サンゴに関する研究への助成制度の創設	サンゴ基金を活用し、沖縄科学技術大学院大学の研究機関や研究者に対する研究費の助成事業を創設する。			○	○	○	●	

3) 交流と活力(産業振興に関わる事業)

●:実施、○:調査・検証 ●実施済み、●検討中、●未実施

事業名称	事業内容	担当課	実施時期					備考
			H29	H30	H31	H32	H33	
漁港施設内における環境美化事業(仮)	村内漁港施設は海(ダイビング・シュノーケル)へのアプローチ施設であるが、不法投棄されたゴミや放置された船舶、漁具等が乱雑な状態であり、観光地としてのイメージ低下につながるため、施設内の清掃や所有者不明の漁船・ボート、粗大ごみの処分を行う。	農林水産課	●	●	●	●	●	
漁港施設利用のルール作り	漁港施設の利用が煩雑化していることから、施設利用のルール作りを進める。さらに、観光客が利用できるシャワートイレの設置を計画する。	農林水産課	○	○	●	●	●	里海づくり協議会で調整。
恩納村PR事業	本村においては全国コープの協力によりサンゴ礁保全再生事業が進められていることから、今後は、県外コープへ出向き、恩納村のブースを設けPR活動を行う。	農林水産課	●	●	●	●	●	H29年度は広島で実施。今年度も実施する予定。
サンゴ礁保全再生事業普及啓発映画製作(ショートフィルム)	単なるドキュメンタリー映画ではなく、本村の風光明媚な自然を紹介しつつ、また、次代へ繋がるようなストーリー性があるショートフィルムの製作。	商工観光課		○	○	●	●	吉本興業が実施することは決定しているが、サンゴに特化した内容ではないため、別で検討が必要?
サンゴの歌の普及	沖縄ラテンユニット「Soluna」が歌う“さんごDEマンボ”を活用し、サンゴ礁保全再生活動のPRを行う。楽しいダンスとともに、子どもから大人まで楽しみながらサンゴの大切さ、ありがたさを伝える。	商工観光課		●	●	●	●	第35回うんなまつりで披露され、セレモニーを盛り上げた。今後もSunnaちゃんと歌を活用し、様々なイベントでPRを実施する。
産業振興に関わる人材育成	サンゴ基金を活用し、漁業を中心に新たな技術開発や新規事業の立ち上げ等に対する支援を行う。			○	○	○	●	
観光振興計画に基づく各種事業の実施	サンゴ基金を活用し、観光振興計画に位置付けられている各種事業に対し、事業費の捻出を行う。			○	○	○	●	

サンゴの村づくりに向けた行動計画の進捗管理シート

2018.7月末現在

4) 共生と持続(環境保全、事業継続に関わる事業)

●:実施、○:調査・検証 ●実施済み、●検討中、●未実施

事業名称	事業内容	担当課	実施時期					備考
			H29	H30	H31	H32	H33	
赤土等流出防止営農対策促進事業(沖縄県営農支援課)	「農業環境コーディネーター」を設置し、農地からの赤土流出を抑制する。	農林水産課	●	●	●			継続して実施。
赤土等流出防止活動支援事業(沖縄県環境保全課)	赤土流出防止対策を実施する団体や個人を対象とした補助事業。農家や子供たちへの環境教育や土地改良地区にて沈砂池や排水路の清掃等を実施。	農林水産課	●	●	●			継続して実施。
エコクーポン事業(一般財団法人美ら島財団)	本島北部圏域にてビーチクリーンなどのエコ活動を実施した個人、団体へ美ら海水族館の入場券を配布する。農振協が実施する赤土対策活動へ適用している。	農林水産課	●	●	●	●	●	継続して実施。
県営水質保全対策事業(野原・伊場・勢理田)計画策定業務 ※県発注	野原地区・伊場地区・勢理田地区において「水質保全対策事業」導入へ向けた調査および計画を策定する。	農林水産課		○	●	●	●	H30～H32にかけて調査、H33年度に実施予定。
多面的機能支払交付金	農地・農業用水等の資源の良好な保全と質的向上を目的に、地域住民が主体となった資源向上活動を行う事業。	農林水産課	●	●	●	●	●	継続して実施。
水産多面的機能発揮対策	環境・生態系の維持・回復や安心して活動できる海域の確保等、漁業者等が行う水産業・漁村の多面的機能の発揮に資する地域活動を支援する。	農林水産課 漁協	●	●	●	●	●	漁協へ補助金を交付し、養殖事業等を実施している。
サンゴに優しいライフスタイルの普及啓発	サンゴを傷つけない、環境に優しい商品を購入する、省エネを心がける、自然環境について学ぶ、自然の中で遊ぶ等、サンゴに優しいライフスタイルを村民への普及を図る。(環境基本計画の策定)	村民課		○	●	●	●	
環境税・観光税等の導入によるサンゴ基金の創設	サンゴ礁保全再生事業を継続的に行うため、環境税や観光税等の導入等によって、資金源を確保する方法について検討を行う。	総務課 商工観光課 企画課	○	○	○	○	●	勉強会を開催。現在、宿泊税についてのwebアンケートを実施中。